

# 兵道けんじニュース

発行者 公明党甲府市議会議員

2012. 夏

兵道 顕司

VOL. 1 5

甲府市中村町 1 5 - 6

TEL/FAX055-237-9529

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

2期目がスタートして、はや1年が過ぎました。

この1年は各定例会で代表質問に立ちました。新人が多い中で会派代表として公明党を訴えぬいて参りました。

長引く景気低迷に市民の生活が苦しくなるなか、公明党は「防災・減災ニューディール」による景気のテコ入れを提案しています。

今後とも皆様の声を是非お寄せ下さい。よろしくお願ひします。



新庁舎基礎工事の状況です

## 社会保障と税の一体改革が 国会で議論されています

急速に進む少子高齢化は甲府市でも顕著です。医療や介護、年金、子育て支援といった社会保障制度は、少子高齢化の進行により維持充実が困難になっています。国全体で毎年1兆円もの経費が自然に増えている現状です。

そこで、負担と給付のあり方を見直し、将来にわたって持続可能な社会保障制度とする必要があります。現在税制の見直しも含めた関連法案が参議院で審議されています。

**景気対策や低所得者対策などきめ細かい対策を行いながら、これからもセーフティネットとしての社会保障制度の充実が求められます。**

地方議員として、身近な市民の皆様の生活現場のお声を届け、庶民の生活に即した改革となるよう働きぬきたいと思ひます。

# 防災・減災対策が 今求められています



補強工事により長寿命化を図った下曽根橋（県施工）

道路や橋梁などの社会資本の多くは高度成長時代に整備が進められてきました。その耐用年数は約50年で今後老朽化による防災力の低下が大きな課題です。

6月議会の代表質問で、市でも計画的に道路や橋梁、上下水道施設の老朽化対策を進めている状況が明らかになりました。

公明党は、こうした社会資本の補修等に集中投資することにより、防災力向上と景気刺激の一石二鳥の効果をねらった「防災・減災ニューディール」政策を提唱しています。

地方自治体では財政状況が厳しい中、優先度の高いものから順に社会資本の補修整備に計画的に取り組んでいますが、予算の制約、特に自己財源の手当てに苦慮している状況です。

国で、「防災・減災ニューディール」政策を実施することを期待するとともに、地方自治体への補助率のかさ上げ、地方債の元利償還金への交付税措置の充実により、地方負担の軽減を図り、地方が取り組みやすい景気対策を求めていきたいと思えます。